

令和3年度 実践型地域活動事業

地域資源(ヤブツバキ)を活かした佐賀関地域の活性化

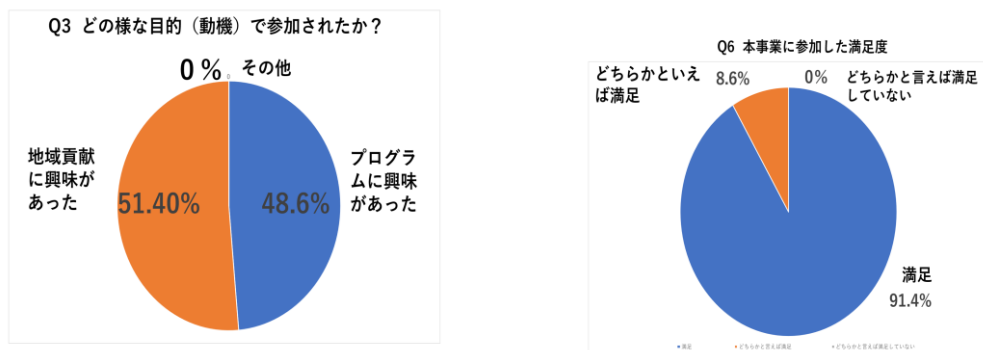
○目的

平成29年5月・大分短期大学(以下大分短大)とNPO さがのせきまちづくり協議会(以下NPO)とが協定を締結している。本事業で、大分短大及び地元NPOとの連携を図り、地域資源のヤブツバキを活かした、佐賀関地域の活性化を目指す。特に学生達はフィールドワークによって地域の実態及び課題を知ることにつとめるとともに、地域住民との交流を深めた。ワークショップで地域活性化のビジョンづくりや地域資源の利活用の普及に資する。

○実施概要

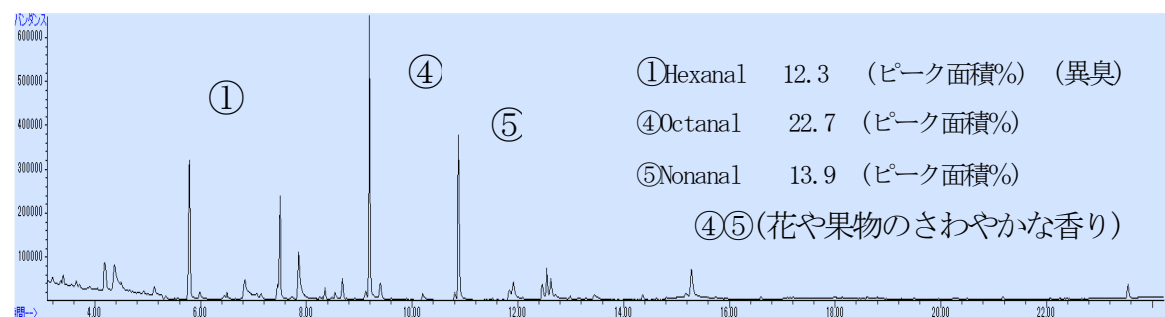
- I. ヤブツバキ椿油分析用果実の採取及び椿油の香り成分の分析
令和3年9月19日(日)果実採取:参加学生13人→令和4年1月搾油
令和4年1月14日~香り成分分析開始(別府大学)
別府大学食物栄養科学部発酵食品学科(以下別府大学)
- II. 活性化ビジョン創りのワークショップ
令和3年9月19日(日)3班編成(公民館工作室)参加学生13人
- III. 海を守る廃プラスチックごみゼロ作戦 参加学生14人
令和3年11月6日(土) 関崎半島 黒ヶ浜海岸(渚百選)の清掃活動
- IV. 環境に負荷の少ない椿油利用の手作り石けんづくりのワークショップ
令和3年11月6日(土) 公民館 工作室 参加学生13人
- V. ヤブツバキ果実利用の手芸品の展示及び手芸品づくりワークショップ
令和3年12月5日(日) 公民館 工作室 参加学生13人

[アンケート調査結果] 参加目的(動機)及び満足度



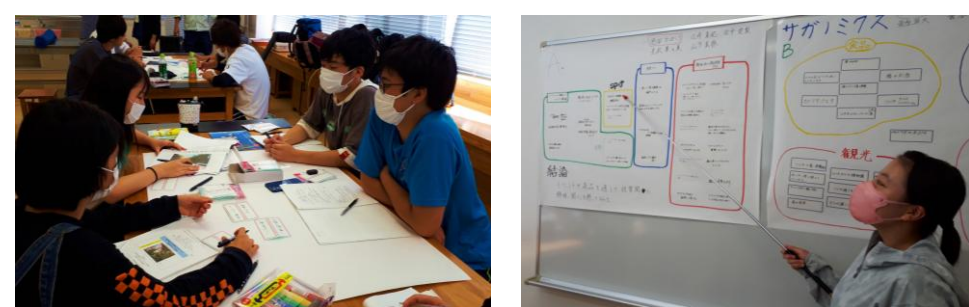
I. ヤブツバキの椿油の香り成分分析

香り成分分析結果 (分析: 別府大学食物栄養科学部発酵食品学科)



学生達の採取した果実から6.9Kgの乾燥種子が得られ、NPOにて1月5日に搾油し1.820m搾油。搾油率23.7%の椿油が取れた。直ちに別府大学へ分析検体として持ち込み香り成分分析を行った。花や果実の香り良い爽やかな香り成分が含まれていることが解った。香り成分測定機器はAgilent Technologies製の7890B GC Systemと連結した5977A MSD。

II. 活性化ビジョン創りのワークショップ



学生達は3班に分かれ、ブレインストーミングでアイデアを放出し、KJ法で課題を導き出した。各班から創出された活性化のビジョンは次のとおりである。

- A班: イベントや商品開発を通して佐賀関に興味・関心を持ってもらう
- B班: サガノミクス(佐賀関地域の経済の活性化)
- C班: 世界一いきたい佐賀関

ワークショップへ終始参加したNPO理事長渡辺 修(86)氏の声として「若い人ならではの感覚や視点を知る機会になった。実現できそうなところから活動に生かしたい」と。大分合同新聞 2021年(令和3年10月5日)朝刊

III 海を守る廃プラスチックごみゼロ作戦



学生達の活動の一環(写真)が、大分合同新聞(令和3年11月18日)朝刊や「県うつくし県民会議」等の広報誌に取り上げられた。(拾ったごみの量 50リットル×53袋)
「細かいゴミもあった。私たちの生活が便利になるにつれて生き物に負担が掛かっていることをすごく感じた」 1年:小野千尋さん(18)

IV 環境に負荷の少ない椿油利用の手作り石けんづくりのワークショップ



特産椿油を用いた手作り石けんは、その後約40日間乾燥・熟成させ、再び参加者に届け、学生は、ゼミ研究の一環として使用後のアンケート調査を行っている。

V. ヤブツバキ果実利用の手芸品展示及び手芸品づくりワークショップ



公民館1Fロビーにて、公民館行事で集う多くの参加者に展示品を見て頂き、学生は見学者の声を聴衆した。工作室では高齢者・夫人を対象に手芸品づくりを行った。手芸品作りのワークショップでは地元の参加者と学生との弾ませた会話の声を拾う!と、「身近すぎて、今まで見過ごしていた花の実。アイデア次第でこんなにすてきになるなんて」と喜んだ。

大分合同新聞 2021年(令和3年12月21日)朝刊

参加した学生7人の意見・感想

- 現在の地域課題を明確にし、解決策を出すことが出来た。
- 話し合い等を行い、課題について考えることが出来た。
- 佐賀関について、これまで知らなかった様々な面を見ることが出来た。また、地域の方と交流を深めることができ、とても良い社会勉強となった。
- 環境に優しい取り組みや地域貢献を身に染みて感じた。
- 地域資源の利用について知識を得た。
- 地域の方と触れ合うことが出来た。次回も参加したいと思った。
- とても充実した時間でした。貴重な体験・経験でした。参加できてとてもよかった。次回も参加したいと思った。
- 地域資源の利用について知識を得た。○地域の方と触れ合うことが出来た。
- とても充実した時間でした。貴重な体験・経験でした。参加できてとてもよかった。